

第65回  
日本ジャーナリスト会議  
(JCJ) 賞大賞


## 映画「教育と愛国」 制作秘話と希望を語る

「教育は誰のためにあるのか、史実とどう向き合えば良いのか。」監督齊加尚代さんは、本映画で、教育に政治が介入する危機にどう向き合うのかを問いかけています。学術研究の成果ではない「政府見解」に基づく検定基準に沿って中学・高校の歴史教科書表記、「従軍慰安婦」が「慰安婦」に、朝鮮半島からの「強制連行」が動員や徴用に書き換えられました。この映画を観た人もまだ観ていない人も、映画にこめられたお話や長年の取材からみえる最新の教育事情を伺い「教育と政治」について一緒に考えてみませんか。

<講師プロフィール>

毎日放送報道情報局ディレクター。1987年毎日放送入社。報道記者などを経て2015年からドキュメンタリー担当ディレクター。企画、担当した主な番組に『なぜペンをとるのか～沖縄の新聞記者たち』、『沖縄さまよう木霊～基地反対運動の素顔』（2017年1月）、『教育と愛国～教科書でいま何が起きているのか』（2017年7月）は第55回ギャラクシー賞大賞、映画版（2022年5月公開）。個人として「放送ウーマン賞2018」を受賞。著書に『教育と愛国』（岩波書店）『何が記者を殺すのか』（集英社新書）

期 日 : 11月11日(金) 19:00～21:00

配信方法 :  オンライン配信 Zoom

\*開始までにZoomソフト（またはアプリ）のインストールをしておいてください。

\*マイク・スピーカーが内蔵または外付けのパソコン、スマホ、タブレットが必要です。

講 師 : 齊加 尚代さん（毎日放送報道情報局ディレクター）

参加費 : 500円（税込、オンライン決済のみ）

申し込み : 11月10日17:00までに次のURLかQRコードよりお申し込みください。

<http://ptix.at/ggw3q6>



📌 ご登録いただいたメールアドレスに、11月10日夜、当日のZoomリンク先URLとPDF資料を送ります。

📌 11月11日当日にZoomリンク先URLが届いていない場合、以下までメールでお問い合わせください。[rekyo.musashino@gmail.com](mailto:rekyo.musashino@gmail.com)（武蔵野支部）